

2020~2021年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク
2020~2021年度 国際ロータリーのテーマ

福岡東南ロータリークラブ

週報

会長 長谷川 裕一
副会長 津上 賢治
幹事 村瀬 廣記

Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

ROTRY CONNECTS THE WORLD

創 立 / 昭和 45年 2月 6日

事 務 所 / 福岡市博多区住吉1-2-82 グランドハイアット福岡B2
TEL 092 (283) 8878 FAX 092 (283) 8871

E-mail : ftonanrc@fukuoka-serc.org

HP : <http://fukuoka-serc.org>

例 会 場 / グランドハイアット福岡 TEL 092 (282) 1234

例 会 日 / 毎週金曜日 12 : 30

■本日の例会プログラム

- ロータリーソング(四つのテスト)
- 会長の時間 ゲスト・ビジター紹介
- 会務報告
- 各委員会報告
- 誕生祝
- 卓話

「人を動かす広告クリエイティブ」

会員 大久保 悠祐君
(株式会社プランクトンR 代表取締役)

■次回卓話(4月16日)予定

「最大想定に対応する国土と地域の強靱化」

九州大学工学研究院
附属アジア防災研究センター
教授 塚原 健一様

■前回例会の記録(4月2日)

(4月2日現在)マイロータリー登録率 71.23%

◇出席報告 出席委員長

当 日	4月2日	前々回	3月5日
会員総数	74名	会員総数	73名
免除会員数(9名中)	5名	免除会員数(9名中)	5名
出席会員数	48名	出席会員数	46名
ゲスト	1名	メイクアップ	18名
ビジター	0名	欠席会員数	0名
合 計	54名	合 計	68名
出席率	75.71%	修正出席率	100%

会長報告

・新年度になりまして、日本ではコロナの大変な時期ではありませんが、新入学生や新入社員を迎えるという、希望に満ちたスタートを切りました。常にマイナスの時が本質であり、エネルギーであると話をしていますように、このような時期に入社され入社される方々は、我が国にとって宝物であります。そういう意味でロータリアンの皆様も激励していただきたい。

・今日は私の友人であり尊敬しております九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座の馬奈木俊介主幹教授をお迎えしております。先生は、現在国連におけるSDGs評価の評価委員長で、ノーベル賞を受賞した経済学者のケネス・アロー先生から白羽の矢を立てられて後継者となられています。これからの世界の持続可能な社会を、幸せな社会を築いていくための重要な委員長に日本人が選ばれたという大きな意義がございます。

・幸いに今日のロータリーの例会に、木下会員のお計らいで御出席いただくことになりました。自粛期間以降初めての卓話を入れた会員参加による例会に御講話を拝聴することになりました。心から関係者の皆様にお礼申し上げます。

・馬奈木先生が実施されるあらゆる情報の収集力、調査能力、それを判断し決断する実行力そしてフィードバックのスピードは、今までの日本の大学教授の10倍の速さです。これが世界の常識です。日本の常識は時間がかかりすぎて世界の競争には着いていけない。先生はその10倍の速さで世界と連携を取りながら1日15時間働かれています。先般日本で最大のSDGs会議がオンラインで行われました。1600人が参加し、先生も1個人として共催で参加され、大成功の下終りました。本日はよろしくお祈りします。

幹事報告

・太宰府ロータリークラブからの「みちした選手に応援メッセージを贈ろう！」プロジェクトの賛同依頼につきまして、本日と4月9日が締め切りとなっております。2700地区の古賀ガバナーより、賛同お願いの通知が来ております。よろしくお祈りします。

・4月9日の例会場について、一覧表ではホテル日航福岡となっておりますが、ここグランドハイアット福岡で開催します。

「母子の健康月間」

●花まつり / E. ザルディバール

●アヴェ・マリア / カッチーニ

●糸 / 中島みゆき

●夜霧よ今夜も有難う / 浜口庫之助

2日(金) 定例理事会:例会終了後

9日(金) 誕生祝 次期理事会:例会終了後

16日(金) 次期クラブ協議会:例会終了後

17日(土) ゴルフ例会 9時1分:北山CC

23日(金) 第2700地区記念ゴルフ大会

24日(土) 日本のロータリー100周年記念晩餐会

25日(金) 「R1第2700地区大会(指導者研修会)」

30日(土) 「休会」定款第7条第1節Cにより

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

- ・次年度の各委員会一覧表並びにスケジュールを配布しておりますので、ご確認下さい。
 - ・4月16日(金)例会終了後、次期クラブ協議会を開催します。理事・役員・各委員会委員長は出席下さい。
 - ・11月14日(日)に開催される福岡マラソンボランティア参加募集については、5月7日迄となっておりますので、出欠の連絡を事務局までお願いします。
- 当日の欠席は基本的に不可です。
急遽欠席の方はご自身で代理の準備をお願いします。

新会員紹介



岩田 佳 様
(オリックス株式会社福岡支店長)

佐々木健一会員から、緒方会員の後任である旨紹介。
カウンセラーは新納会員
所属委員会は例会運営委員会

卓 話

「持続可能な社会のために」



九州大学大学院工学研究院
都市システム工学講座
教授 馬奈木俊介 様

紹介者 長谷川会長
馬奈木先生は、修猷館高校を御卒業後、九州大学の土木工学、そして大学院を1年で出られ、アメリカ東海岸のロードアイランド大学(海岸資源で世界トップの大学)で博士号を取得され、その後目覚ましい活躍をされて今日に至っておられます。今日はようこそお出でいただきました。よろしくお願ひ致します。
※講演内容については、別紙資料参照。

<例会運営委員会>

※スマイルは時間の都合により次週発表
させていただきます。

合 計	24,000 円
スマイル箱目標額	1,300,000円
累 計 567,010円 (3/26) 達成率	43.6 %

【職業奉仕委員会 : 土井委員長】

右のページ、「決議23-34」の23とは、1923年のこと、34とはこの年に開催されたセントルイス国際大会で、提出された34号議案のことです。人間には利己心と利他心がありますが、利己心より先に利他心を発揮しましょう、ということです。先日ユーチューブで松下幸之助氏が質疑に答えているのを見ました。当時88歳。海外の経営者が団体で来られて、その中のおひとりの方が質問しました。「ビジネスマンにとって最も重要な責務とは、なんですか。」「簡単に言うとね、みんなに愛されることかな。ビジネスマンはね、みんなに愛されないといかんのですよ。あの人がやってはるのやったらええな、物買うてあげよ、と思われのこと。そう思われるためには、奉仕の精神が大切なんです。奉仕の精神がなかったら買うてあげよという気が起こらないから。これができない人は必ず失敗します。」大阪RCに59歳で入会し、平成元年94歳で亡くなるまで35年間ロータリーアンでした。いつも会社のバッジとロータリーのバッジをつけていました。ご紹介した動画は期限付きのようで、4月5日で終了しています。

【CLPについて】

- 先日の次期理事会において、会員の皆様にCLP(クラブリーダーシッププラン)をご理解いただくということになりましたので、ご説明いたします。そもそもCLPとは何かですが、会員数20人前後から50人程度の小規模なクラブには「会員が増えない、クラブの一体感が希薄である、奉仕の喜びが感じられない」などの問題があり、これらを解決するためにRIは過去100年間で「ベストプラクティス」と呼ばれる実践方法をまとめ、2004年にRI理事会で採択し、効果的な管理の枠組みを提供することによってクラブを強化することにしました。これをCLPと言います。
- その内容は、配布資料の黒い文字で記し、赤い文字が当クラブの対応状況です。右ページの真ん中あたりにクラブの各種委員会というところがあります。この段落の最後に「定款第11条に従って常任委員会を任命し、クラブの細則にこれを反映するべきである。」とあります。この文言に当時の日本のロータリーアンは反発しました。既に4大奉仕部門に沿った委員会組織を作っていたからです。しかし、現在の定款第11条でも委員会は「会員増強」「クラブ広報」「クラブ管理運営」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の五つになっています。
- 2004年当時の当クラブの対応が「ロータリー小逕」の57ページに次のように記載されています。「当クラブでは、CLP検討委員会を編成して協議した結果、従来通り、四大奉仕を中心とした委員会構成を継続する」とあります。この結論に至った経緯は記されていませんが、おそらく他クラブの対応を調査したであろうし、そもそもCLPは小規模クラブに適用させるものなので、当時会員数78人の当クラブでは受け入れられなかったのだらうと思います。現在の細則は去年、ロータリー情報委員会が改訂したのですが、やはり五大奉仕を中心とした委員会構成になっており、CLPが奨励するものではありません。但し、衛星クラブの委員会構成については、検討の余地があると思います。
- 次期ガバナーの重点目標に「CLPの策定実施」があるのですが、ご覧のように委員会構成とRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)に関するものを除いて、ほぼ実施されています。但し、もっと積極的な、もっと深堀りした、取り組みが必要な項目もあるので、検討が必要だと思ひます。皆さんのお意見をお待ち申し上げます。

「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい！”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります！”**

【卓話講演内容】

持続可能な社会のために

九州大学大学院工学研究院
都市システム工学講座
教授 馬奈木俊介

・持続可能な開発の目標、一般的な用語としてはSDGsであるが、これまでにどういう話がされてきて今に至るか、今後どういう方向に進むか、そして何が本当にできるか、本日は事例を交えて紹介させていただきたい。

・今大事なことは色んな物の融合である。工学、土木、経済学、医学など、ただ1つだけでは物事が発展しなくなり、次の段階として「2つの融合」が必要である。例えばiPS細胞では山中教授が取ったのは医学と工学の融合であった。このように新しい分野では融合しながら拡張するので、今国連の活動では融合を視点に置きながら進められている。

・私は都市研究センターを九州大学内に作って、旧帝大としては無かった芸工大など、実際にデザインの視点まで考えて活動している。

・国連でやるだけでは物事は何も変わらない。国内ではわかりやすい指標がないと役に立たないということで、現在、日本学術会議（総勢200人の学識者、私はその中で最年少会員）において、持続可能なものに対して投資をするという評価について、マニュアル、報告書をどう取り纏めるかの活動を行っている。

・後程紹介する社会の課題、高齢者の健康、

十分に行き届かない方々への教育、そして永遠に重要といいながら進歩のない環境、気候変動問題、エネルギー問題など、この多くを統合して社会の価値観に落とす、すなわち経済の価値に落とすことが重要である。CO₂ 1トンと言われてもピンとこないし、健康寿命2歳と言われてたら何となく分かるが、多くの方々は健康寿命の数を知らない。単位だけでは経営者の方々の心には響かないし、また活用のしようもない。健康寿命を国平均で1歳上げることが100兆円の価値があるならば、200兆円のお金は投資し過ぎだが、50兆円の投資で2倍稼ぐことになることから、社会として行うべきではないだろうか。また1企業として、それを支援できる商品開発ができるなら良いといえるような軸を見せることが「新国富報告書」、国連のSDGs、社会のインパクトを図るレポートである。「グローバル・レポート」は、2014年以降、私が代表として3年前に1度出し、今年度活動をして来年度出す予定である。

・各国のレポートでは、日本は未だだが、インド、中国、イギリス、今はタイで出している。6月には意外と思われるだろうが、パキスタンで世界環境デーに合わせて自分達が自然の価値をどう取り扱っているかを報告しようと動いている。このように各国

に先んじて自分達が細かな分野でリーダーシップを取りながら行っているのが現状である。

・国際社会または社会全般では、持続可能な開発目標の持続可能な開発という言葉は、1980年代に当時のノルウェーのブルントランド元首相（後の世界保健機関（WHO）のトップ）が中心となって、将来の地球を守るためにということで、「南北問題」を敢えて避けて環境問題に集中した持続可能な目標として取り上げた。

・その後2000年から2015年にかけて、「南北問題」の貧困に目を向けて国連目標ができた。その間の2012年に「リオ+20」というブラジルのリオデジャネイロにおいて、環境を中心にしながらも貧困問題と地球環境問題を同時にやろうということのできたのが、今回の2015年から始まった国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」である。

・一方、政治的には当時のフランスのサルコジ首相がGDP以外の指標を考慮することで、人々の幸せ度合い（ウェルビーイング）を高めるような視点を基に、国家経営をしていくのが良いのではということを取り上げた。

・GDPというのは消費と投資で、消費は現在の喜び、投資は将来の喜びである。しかし見えないものが多い。例えば多くの人がこの1年間で病気で亡くなると、多くの家族の幸せ度合いが低下する。しかし、病院の売り上げは上がるかもしれない。熊本地震や東日本大震災では、インフラは壊れ、人が多く亡くなった。それらのマイナス部分はGDPでは測れない。その後の復興のインフラはプラスとして測れた。その結果、GDPに対する影響はマイナス1%であっ

た。おそらく社会の影響はマイナス数十%と想定できるが、これは測れない。そこで、違う指標を入れようとして政治的に提案されたのが2008年である。

・これを受けて、2012年に（私が関わったのは2014年から）、過去3人のノーベル賞受賞者の1人、ケネス・アロー教授などの考えに基づいて、社会の価値観を経済価値に落とし込むことを考えた。端的に言えば、気候変動のCO₂だと7000円/トンだとか、数字に落とし込むことによって行う価値を明確にした。そうしないと社会にとって良いからといって幾らでもつぎ込むことは、社会・企業にとって持続可能性が失われることになる。

・”一人の命は地球より重い”という言葉はメッセージとしては大事であるが、保険会社はこれを数値に換算する。そういうことを明確にするということの大本を作ったのが、この考え方である。その考え方は、インフラ、建物、道路などを「人工資本」としてストックの計算を行う。もう一つは教育年数の長い人ほど収入もあることから、その人が将来に生み出す人の価値（勿論健康をも考慮に入れて）の「人的資本」と、そして「自然資本」として、未来の農林水産、それに自然環境のすばらしさをも含んでいる。これが投資に値するものとして、社会すなわち公的な存在として計測化することが可能となる。国内でも内閣府を中心にSDGs対策室を作り、推進しており、この中で私は測り方を提案している。

・SDGsの17の目標を多くの方は覚える必要はない。個々の目標は統合する前であれば解決策はある。高価過ぎてできない、政治的にできないなど現実的な問題はある

が、それ以外は解決策ができています。問題は他との融合を図ることによって、より良い解決法があるかどうか、認知されない価値があるかどうかを見つけることである。つまり社会の価値、見えない価値を理解して数値化することが、現実には企業経営者にとって一番大事なことであると思う。

- ・このような個々の専門性を融合化しながら、融合の考え方、計算方法、結果の解釈などを本にして出版したり、海外で論文を発表したり、国内ではそれを推進したりしている。

- ・一例を挙げると、企業においてストレス度を測定しているが、それを解決したことで、1人当たり4000万円の賃金に換算できることを評価できた。人件費でいうと年間100万円程度に相当する。また、第一生命保険の3年間のデータから、東日本大震災ではその影響で引越しを余儀なくされた方で、保険に入っていたことで心の痛みを8割和らげたことが、プラスアルファとしてわかった。この副産物の効果としては、米国で保険に入ることにより健康になったなどの報告がある。

- ・違うデータを融合することで、社会に発信できることはいくらかもある。1年前から長谷川相談役とお会いして（この自粛中に100回ほど）安倍前首相へ提言書を出した。今後2030年の国のあり方を新国富論、すなわちSDGsのあり方として、社会にとって良いことをすればいいというだけでなく、企業の負担や制約にならない形で、社会の課題に対応する点での投資が大事であることを提言書の中に入れた。

- ・言うだけではなく、活動しないと説得力がないということで2つの事例を紹介する。

（卓話の最後に時間が余ったので、別府市の例を追加）

これらは地域も企業も住民の幸福度が良くなる事例である。現在、福岡、佐賀、大分で取組んでいる。

1・医療問題の解決——医療住宅（福岡県中間市、大分県杵築市）

- ・部屋の中を1台のカメラと数台のマイクで画像と音声を取り出すことで、2週間～3日前までのデータを用い、高齢者の重症化を97%の精度で読み取る。結果は携帯を使って情報として送り、そのタイミングで病院に行くようにする。これにより地域医療費すなわち社会保障費の低減ができる。国の財政のうち、社会保障費は現在4割もあり、今後は6、7割に増加するため、抑制することが必要である。

- ・もう1つは転倒防止である。転倒する高齢者は体の重心がズレて数か月単位で倒れることが事前にわかっているので、重心を画像で取ることで、通常やり方と変えて予知可能となる。また検便などのデータをトイレの中でセンサーにより取って、事前に糖尿病の予知ができる。

- ・これらは「データ」と「医学」と「住宅」を融合することで解決できた事案である。住宅メーカーでは新しいブランドを提案でき、アプリ会社は既存にないアプリの提供になる。それに保険会社が加わると健康度合いをチェックできるオーダーメイドの保険になる。

- ・付随する効果として、屋外での心拍数、心電図の測定データを入れることで日常時の健康管理が可能となる。

- ・以上のことを中間市や杵築市など、小さ

な自治体で実施している（大きな自治体だとスピード感がない）

2. 健康を測る（佐賀県江北町）

・「納豆」が人の健康に与える良さを実験している。「食べる・食べない」、「年齢別」、「既往病気別」で比較することで、つまり医療実験を DNA ベース、ゲノムベースで融合できるが故に実施している。融合すると体の特徴から、便の特性が把握でき、健康に対する評価を行うことができる。

（馬奈木先生ご自身の個人データによる評価を紹介）

・簡易な方法でデータを集め、最新の医学を用いながら、病院に行くことなく、個人の健康を測ることができる。このようなことを推進することで、地域の人々の健康度合いを測ることができる。

3. 温泉医学の照明（別府市）

・温泉の効用による免疫力のレベルを個人毎に測定して、その度合いを医学的に調査している。別府市にある5つの温泉地区に絞ってデータを取っている。湯治のように2週間に亘ってデータを取る仕組み（ワーケーションのような）で、個人の医療データとして事前に体の特徴を掴んでおき、その後入浴を続け、1週間、2週間後にデータを測定してどのような差が出たかで、どの位良くなったかを把握する仕組みである。そうすると気持ち的でなく、科学的に何がどのレベルに上がったかがわかる。

・このような取組みを通じて、個々の病気に対する免疫力がわかり、入浴をどれ位の期間や頻度にすればよいか、食生活ではどう気を付ければよいかなど、オーダーメイ

ドで分かる仕組みを考えている。

・温泉の効果を測ることで、地域の良さをアピールすることができ、インバウンドに頼ることなく「別府方式」として日本中の温泉に展開することで、地域の人々に喜んでもらえることに繋がると思う。

以上のように、現在日本初で「三方良し」を数値化して世界基準にする取組みを今月からアジア代表として実施しているところである。

最後に、今回お話しした取組みの大事な点は、地域目線、国目線で見えていくことでもあります。また新しいアイデアは企業から発せられます。皆様の事業がより成功していきながら、社会の課題、見えない力が見えるようにと持っていきたい思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。